※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校政治・経済」　（清水書院）						
副教材等	テーマ別　資料　政治・経済（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書に準拠した講義形式の授業を実施し、知識の定着を図る。また、視聴覚教材の利用や時事問題の学習を通じて政治・経済を中心とする現代社会への興味・関心を促す。さらに、グループワークや調べ学習を実施したうえでプレゼンテーションや討論を行い、政治経済上の諸問題について自分の考えを述べたり、文章で表現する機会を設ける。

2　学習の到達目標

・現代の政治・経済にかかわる事柄についての知識や資料の活用技能を理解習得している。
・現代の政治・経済にかかわる事項について多面的・多角的に考察し、適切に判断し、表現することができる。
・よりよい社会の実現のために主体的に行動する態度を養い、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の諸課題の解決に向けて探求するために、政治・経済に関する基本的な概念や理論などについて理解する。また、諸資料を読み解き活用する技能を身につける。	政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会の課題を把握し、説明・構想する力を養う。さらに、構想したことについて議論し、判断して合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代政治の仕組みと日本	政治とは何か 法とは何か 現代民主政治屈の歩みと基本原理 議会制民主主義と世界の政治体制 日本国憲法の成立と基本原理 基本的人権と新しい人権 平和主義と安全保障 日本の政治機構 政党政治と選挙制度 地方自治	a:政治と法の意義と機能、基本的人権の保障、議会制民主主義、地方自治になどついて現実社会の諸事情を通して理解を深める。 b: 民主政治の本質を基に、望ましい政治の在り方を多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 c:現代日本の政治における諸課題について探求し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明・論述する。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 ポートフォリオ
2学期	現代経済の仕組みと日本	経済活動と経済主体 市場経済の機能と限界 国民経済と景気変動 物価とその変動 金融の仕組みと働き 財政の仕組みと働き 日本経済のあゆみ 企業の活動と役割 労働問題と労働環境の変化 社会保障制度の充実 農業と食糧問題	a: 経済活動と市場・経済循環、物価と景気変動、財政や金融の働きなどについて現実社会の諸事情を通して理解を深める。 b:経済活動と福祉の向上、市場経済の機能と限界、財政の在り方などの現代経済を多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 c: 現代日本の経済における諸課題について探求し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明・論述する。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 ポートフォリオ
	現代日本の諸課題	地域社会の自立と中央政府のやくわりとはなにか？ 持続可能な社会保障制度は実現できるか？ 多様な働き方ができる社会とはどのような社会か？ 安全・安心な社会を実現するには？ 歳入・歳出両面での財政健全化とは？	a:地域社会の自立、社会保障制度など現代日本の諸課題についての理解を深める。 b: 現代日本の諸課題を多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 c: 現代日本の諸課題について政治と経済を関連させて探求し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明・論述する。			
3学期	現代の国際政治・経済	現代の国際社会と政治 現代の国際社会と経済 国司社会の諸課題	a: 国際社会の変遷、国際協調の必要性、貿易、国際平和などについて現実社会の諸事情を通して理解を深める。 b: 国際平和、人類の福祉、国際経済などの国際政治経済に関する諸課題を多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 c: 現代の国際社会における諸課題について探求し、よりよい国際社会の在り方についての自分の考えを説明・論述する。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度